

**2022年3月期**

(2021年度)

**第3四半期**

**決算概要**

**2022年2月4日**

**リコーリース株式会社**

1. 2022年3月期 第3四半期 連結業績報告
2. セグメント別の状況
3. 2022年3月期 連結業績予想
4. 参考資料

1. 2022年3月期 第3四半期  
連結業績報告

## 1. 減収増益

資産利回り改善の継続に加え、レンタル事業も伸長し、過去最高益を更新

## 2. 営業資産 9,679億円（前期末比△7億円）

新型コロナウイルス感染症の長期化、半導体不足等の影響による取扱高の減少により、営業資産は減少

## 3. 2022年3月期 営業利益予想185億円に向けて順調な進捗

2021年末以降の市場状況により不確実性は変わらず、増益ながらも通期予想は慎重に見ている

※リース債権流動化を控除しない営業資産は10,387億円（前期末比△7億円）

※当資料では、「親会社株主に帰属する四半期純利益」及び「親会社株主に帰属する当期純利益」を、それぞれ「四半期純利益」及び「当期純利益」と表記

- 割賦売上高の減少、前年実施のリース債権流動化の影響等により、売上高は減少
- 資産利回り改善等による売上総利益の増加、販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は増益

単位：億円

	2021/3期 3Q累計実績	2022/3期		2022/3期 通期予想	進捗率
		3Q累計実績	伸率		
売上高	2,494	<b>2,311</b>	△7.3%	3,124	74.0%
売上総利益	283	<b>304</b>	7.2%	400	76.1%
販売費及び一般管理費	137	<b>132</b>	△3.7%	215	61.7%
営業利益	146	<b>171</b>	17.5%	185	92.8%
経常利益	144	<b>172</b>	19.7%	183	94.5%
当期純利益	99	<b>119</b>	20.3%	126	94.8%
			前年差		
1株当たり配当金（円）	—	—	—	115.00	—
1株当たり純利益（円）	322.02	<b>387.36</b>	65.34	408.76	—
配当性向	—	—	—	28.1%	—
ROA（総資産当期純利益率）	1.15%	<b>1.36%</b>	0.21%	1.05%	—
ROE（自己資本利益率）	7.1%	<b>8.0%</b>	0.9%	6.4%	—

※ROA及びROEの実績は、年換算した数値を記載

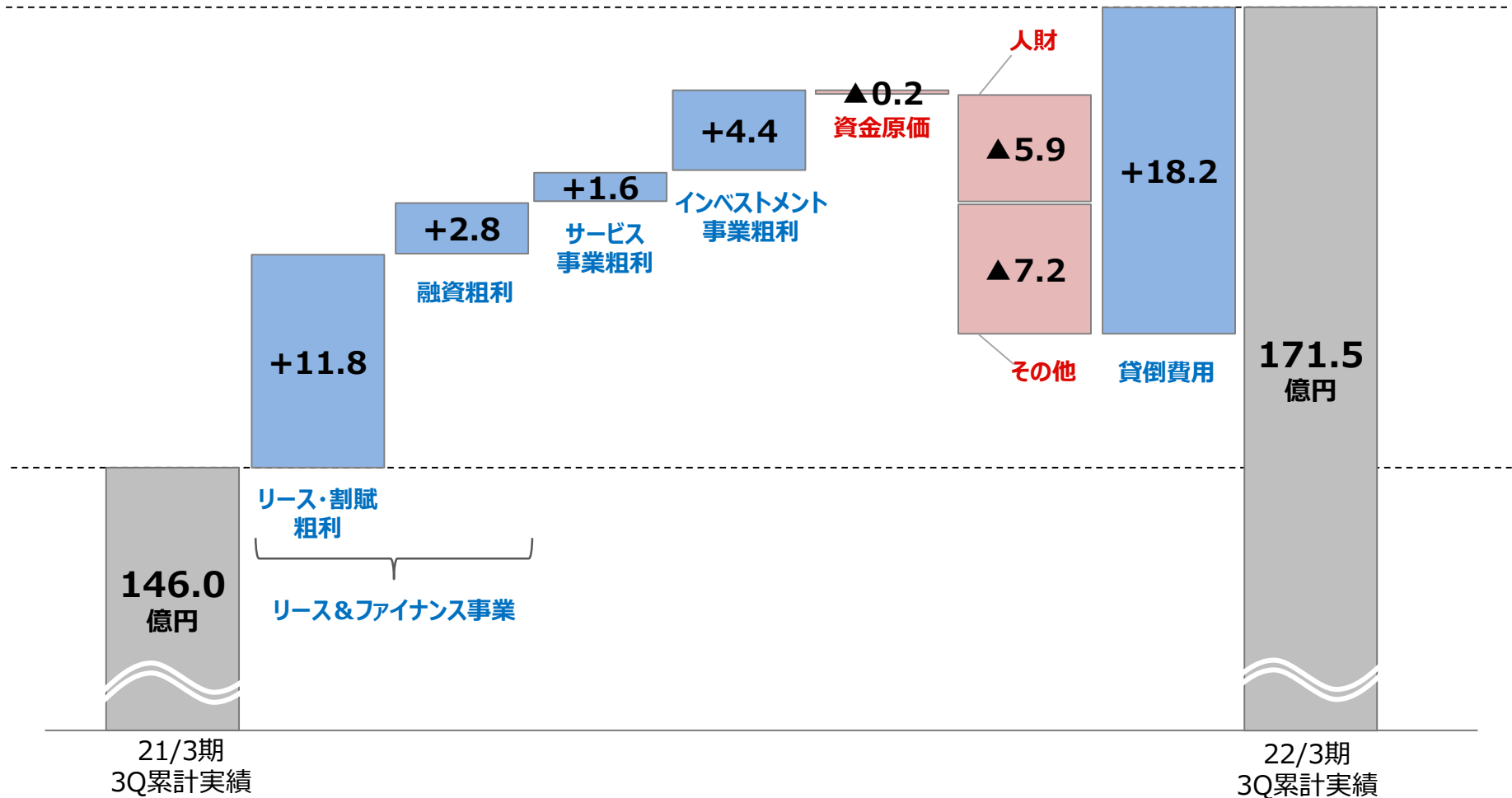


# 営業利益の前年比増減要因

売上総利益

販売費及び一般管理費

単位：億円



- 投資有価証券の増加、その他有価証券評価差額金の増加等により、その他資産及び純資産が増加

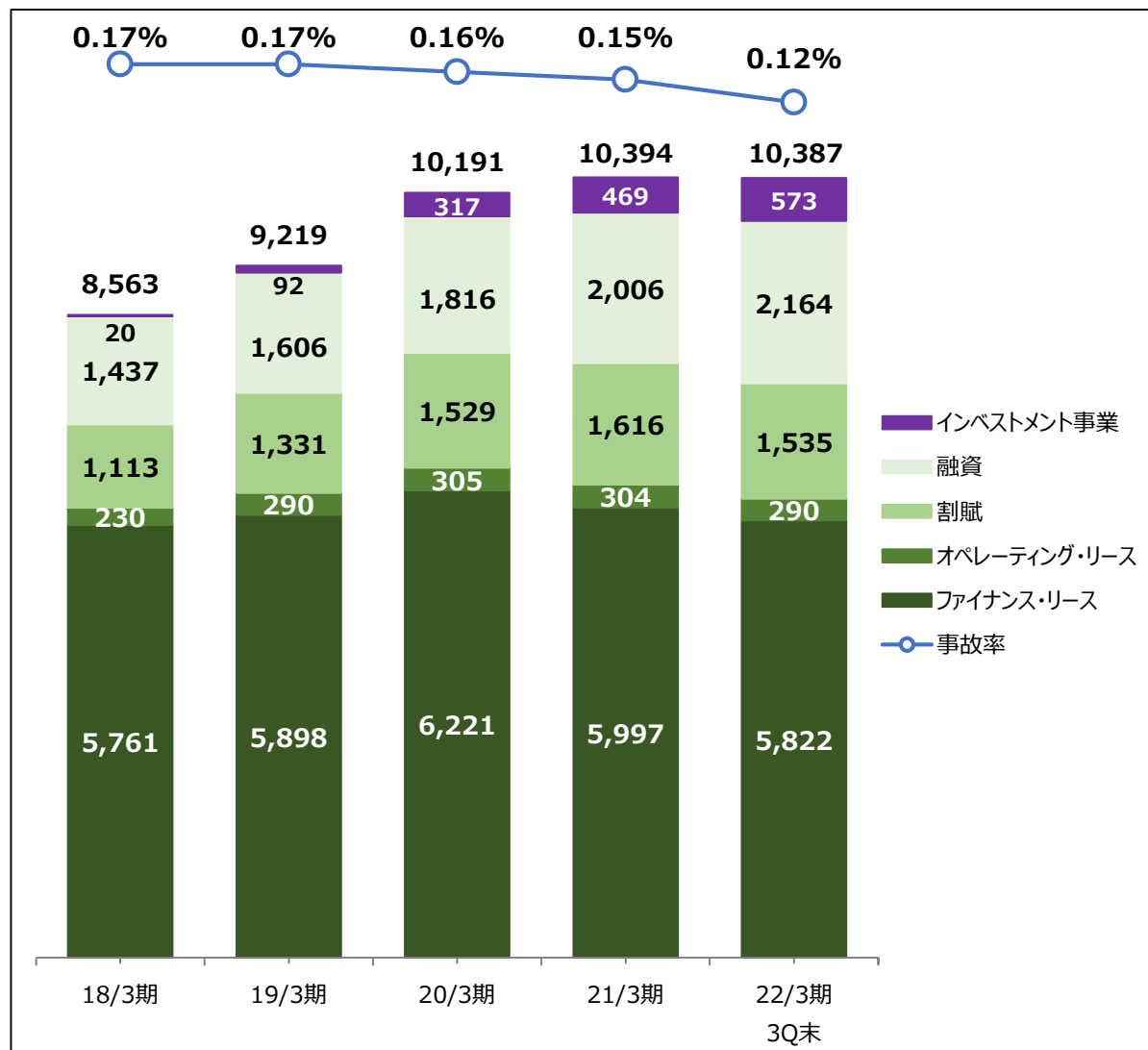
単位：億円

	2021/3期	2022/3期	
	期末	3Q末	前期末増減
現金及び預金	110	<b>223</b>	113
リース債権及びリース投資資産	5,289	<b>5,114</b>	△174
割賦債権	1,829	<b>1,754</b>	△74
営業貸付金	2,006	<b>2,164</b>	158
賃貸資産	543	<b>603</b>	59
貸倒引当金	△118	△ <b>109</b>	9
その他資産	1,947	<b>2,104</b>	157
資産 合計	11,607	<b>11,856</b>	248

	2021/3期	2022/3期	
	期末	3Q末	前期末増減
短期有利子負債	2,254	<b>1,608</b>	△646
長期有利子負債	5,900	<b>6,675</b>	775
債権流動化債務	400	<b>400</b>	0
その他負債	1,139	<b>1,109</b>	△29
負債 合計	9,693	<b>9,792</b>	98
純資産 合計	1,913	<b>2,063</b>	150
負債純資産 合計	11,607	<b>11,856</b>	248

※貸倒引当金は、流動資産及び固定資産の合計を記載  
 ※1年以内返済予定の長期債務は、短期有利子負債に含む

単位：億円



- 取扱高の減少及び大口債権の早期返済により、営業資産は前期末から7億円減少
- 事故損失額は減少、事故率は低位で推移

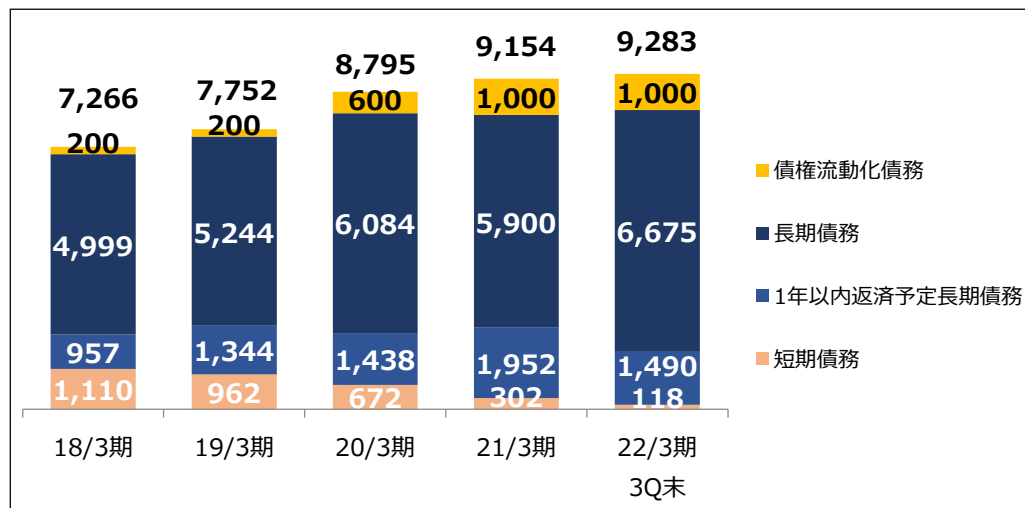
※営業資産はリース債権流動化を控除しない残高を表示  
(22/3期3Q流動化金額：707億円)

※事故率 = 事故損失額 ÷ 営業資産平均残高  
(22/3期3Qは、事故損失額を年換算して事故率を算出)



## 調達総額

単位：億円

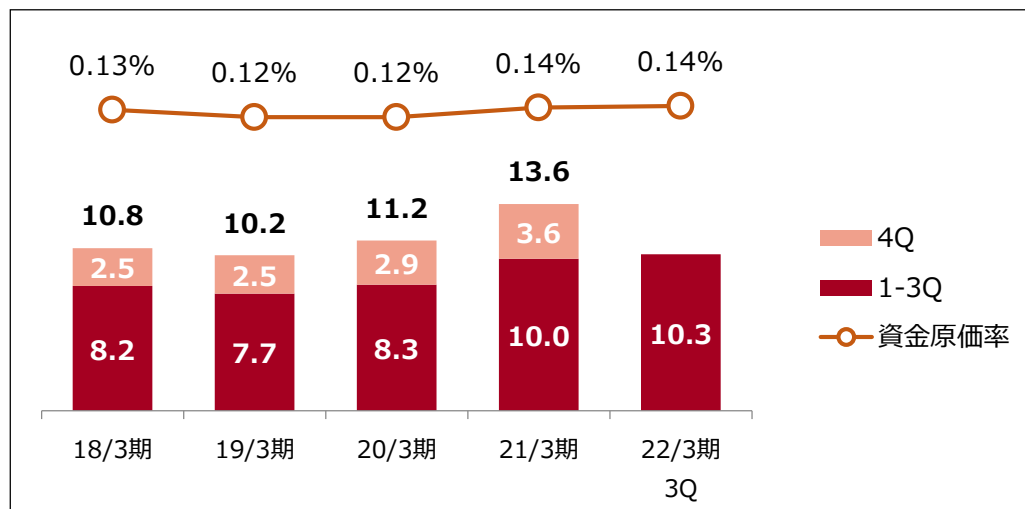


- 21/3期のポジティブ・インパクト・ファイナンス（PIF）、22/3期のサステナビリティ・リンク・ローン（SLL）によるESGファイナンスを実施

※債権流動化債務は、オフバランス調達を含む残高を表示  
 ※PIF：環境・社会・経済へのインパクトを評価し、当該活動の支援を目的とした融資  
 ※SLL：ESG戦略と整合した目標を設定し、目標の達成状況に応じてインセンティブが発生する融資

## 資金原価・資金原価率

単位：億円



- 資金原価は微増、資金原価率は横這い

※資金原価率 = 資金原価 ÷ 営業資産平均残高  
 ※22/3期3Qは、資金原価を年換算して資金原価率を算出

## 2. セグメント別の状況

- ・ リース&ファイナンス事業は、割賦売上の減少等により減収。販売費及び一般管理費の減少等により増益
- ・ サービス事業は、集金代行サービスが引き続き堅調に推移。第1四半期よりエンプラスの業績を連結業績に反映
- ・ インベストメント事業は、安定した売電収益により太陽光発電が業績を牽引し、増収増益

## ■ 売上高及び損益

単位：億円

	2021/3期 3Q累計実績	2022/3期	
		3Q累計実績	伸率
<b>リース&amp;ファイナンス事業</b>			
売上高	2,434	<b>2,231</b>	△8.3%
セグメント利益	139	<b>165</b>	18.8%
<b>サービス事業</b>			
売上高	41	<b>48</b>	17.2%
セグメント利益	12	<b>10</b>	△13.5%
<b>インベストメント事業</b>			
売上高	18	<b>31</b>	68.7%
セグメント利益	5	<b>7</b>	46.3%

## ■ 営業資産

単位：億円

	2021/3期 期末	2022/3期	
		3Q末	前期末増減
リース&ファイナンス事業	9,925	<b>9,813</b>	△111
インベストメント事業	469	<b>573</b>	104

※リース債権流動化を控除しない残高を表示

- 半導体不足等の影響、前年の大口案件の反動により、リース・割賦の取扱高は減少
- 新規契約獲得利回りは、引き続き改善を継続

## ■ 取扱高（商品別）

単位：億円

	2021/3期	2022/3期	
	3Q累計実績	3Q累計実績	伸率
ファイナンス・リース	1,743	<b>1,693</b>	△2.8%
オペレーティング・リース	133	<b>133</b>	△0.2%
リース計	1,877	<b>1,827</b>	△2.7%
割賦	586	<b>437</b>	△25.4%
リース・割賦 合計	2,463	<b>2,264</b>	△8.1%
融資	360	<b>384</b>	6.7%
リース&ファイナンス事業 取扱高 合計	2,824	<b>2,649</b>	△6.2%

## ■ リース・割賦 取扱高（機種別）

単位：億円

	2021/3期	2022/3期		リース事業協会 (4月-12月累計) 伸率
	3Q累計実績	3Q累計実績	伸率	
事務用・情報関連機器	1,236	<b>1,137</b>	△8.0%	△7.2%
医療機器	227	<b>246</b>	8.3%	△0.4%
産業工作機械	283	<b>262</b>	△7.3%	△19.0%
商業・サービス業用機器	146	<b>111</b>	△23.4%	△7.8%
車両・輸送用機器	163	<b>163</b>	△0.1%	0.1%
その他	405	<b>342</b>	△15.6%	△20.8%
リース・割賦 取扱高 合計	2,463	<b>2,264</b>	△8.1%	△9.1%

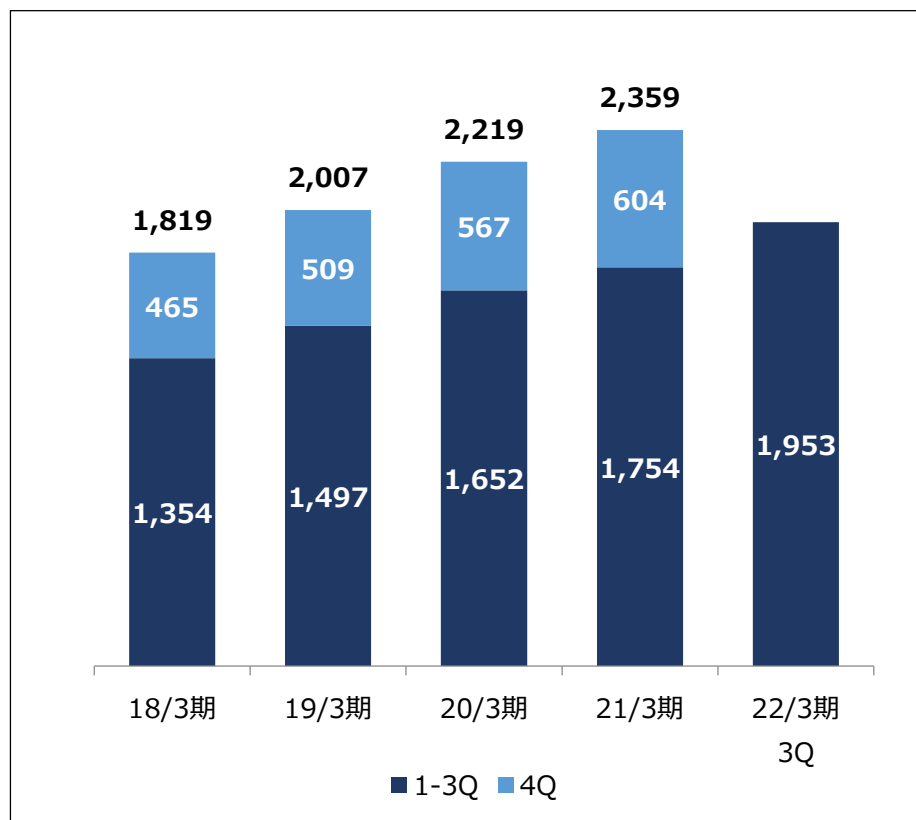
環境関連	373	<b>254</b>	△31.8%
------	-----	------------	--------

※環境関連は、上記取扱高の内数

- 集金代行サービスは、非接触ニーズから口座振替サービスへの関心が高く、Webを通じた問い合わせが増加傾向
- 医療・介護ファクタリングは、公的支援等の充実による解約申請が発生し、取扱高が減少

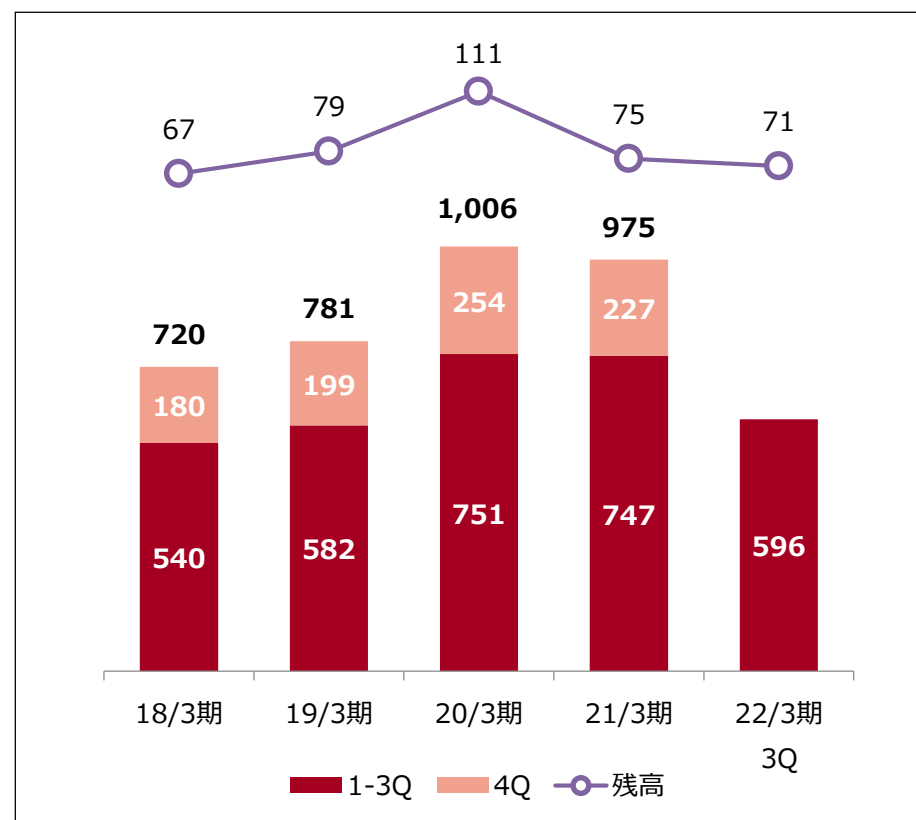
## ■ 集金代行サービス取扱件数

単位：万件



## ■ 医療・介護ファクタリング取扱高

単位：億円



- セカンダリー案件、自家消費モデル等への事業投資、エクイティ投資の実行により、環境分野の営業資産を積み上げ
- 住宅賃貸・不動産関連は、市況を鑑み慎重なスタンスを維持し、アセットや条件面を厳選しての取り組み

## ■ 事業投資額

単位：億円

	2021/3期 3Q累計実績	2022/3期	
		3Q累計実績	伸率
太陽光発電	43	<b>83</b>	91.4%
住宅賃貸・不動産関連	50	<b>114</b>	127.8%
インベストメント事業投資額 合計	94	<b>198</b>	110.9%

## ■ 営業資産

単位：億円

	2021/3期 期末	2022/3期	
		3Q末	前期末増減
太陽光発電	166	<b>188</b>	21
住宅賃貸・不動産関連	302	<b>385</b>	83
インベストメント事業 営業資産 合計	469	<b>573</b>	104

### 3. 2022年3月期 連結業績予想

- 2021年11月1日に発表した連結業績予想からの変更無し
- 売上総利益の増加が販売費及び一般管理費の増加を吸収し、営業利益は過去最高益を見込む

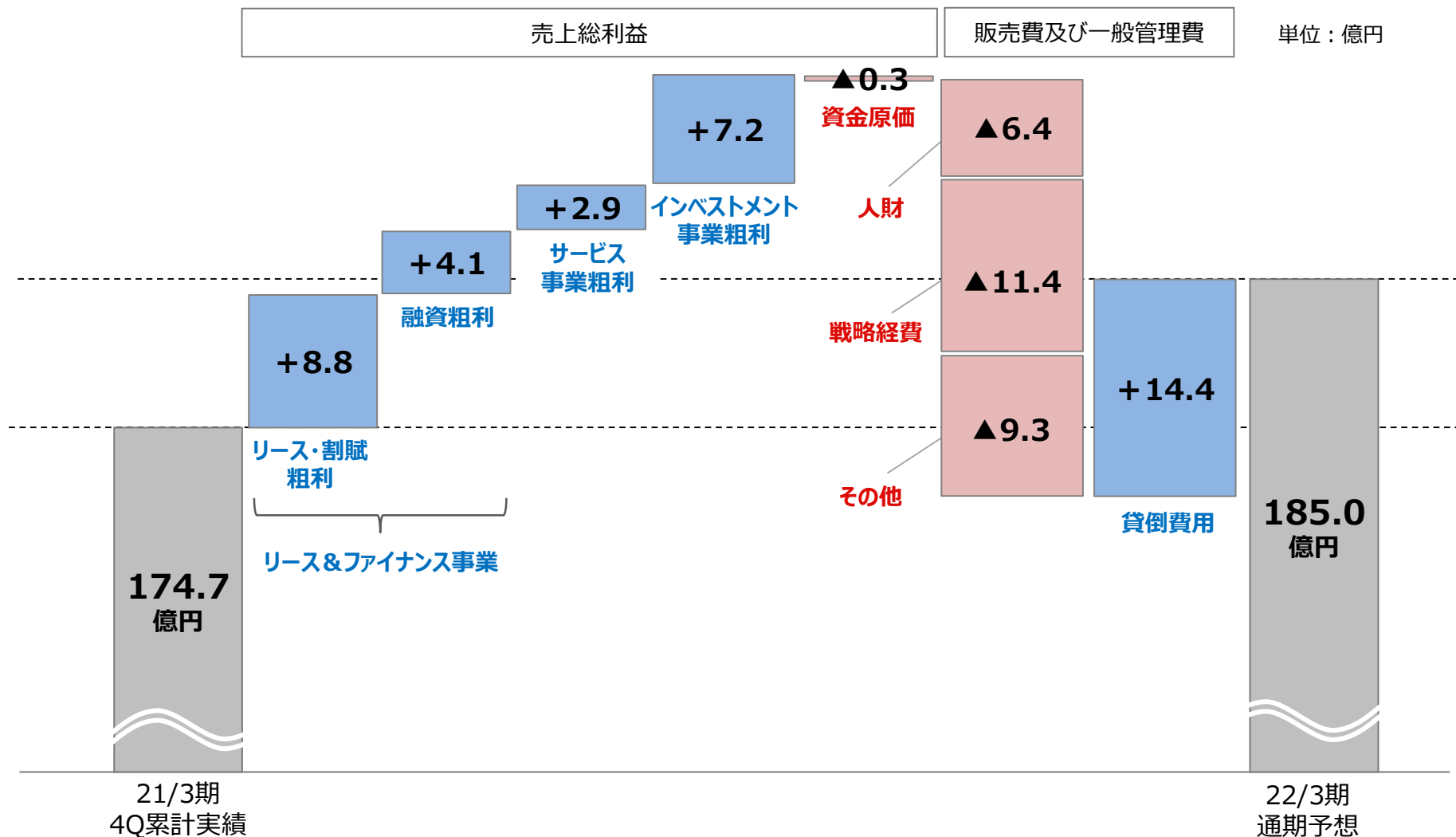
単位：億円

	2021/3期		2022/3期	
	通期実績	伸率	通期予想	伸率
売上高	3,262	△1.8%	<b>3,124</b>	△4.2%
売上総利益	377	7.2%	<b>400</b>	6.1%
販売費及び一般管理費	202	11.4%	<b>215</b>	6.3%
営業利益	174	2.7%	<b>185</b>	5.9%
経常利益	175	2.5%	<b>183</b>	4.5%
当期純利益	120	1.6%	<b>126</b>	4.8%
		<u>前年差</u>		<u>前年差</u>
1株当たり配当金（円）	100.00	10.00	<b>115.00</b>	15.00
1株当たり純利益（円）	389.93	7.13	<b>408.76</b>	18.83
配当性向	25.6%	2.1%	<b>28.1%</b>	2.5%
ROA（総資産当期純利益率）	1.04%	△0.04%	<b>1.05%</b>	0.01%
ROE（自己資本利益率）	6.4%	△0.2%	<b>6.4%</b>	△0.0%



# 営業利益の前年比増減要因 予想

- 全セグメントにおいて売上総利益は増益計画
- 事業基盤（人的リソース、ITインフラ）強化の投資を継続。貸倒費用は対前年比減少



- インベストメント事業と融資を中心に、営業資産の増加を見込む

単位：億円

	2021/3期		2022/3期	
	期末	前年増減	期末予想	前年増減
ファイナンス・リース	5,997	△224	<b>6,040</b>	42
オペレーティング・リース	304	△1	<b>310</b>	5
リース計	6,301	△226	<b>6,350</b>	48
割賦	1,616	87	<b>1,650</b>	33
リース・割賦 合計	7,918	△138	<b>8,000</b>	81
融資	2,006	189	<b>2,270</b>	263
リース&ファイナンス事業	9,925	51	<b>10,270</b>	344
インベストメント事業	469	152	<b>840</b>	370
営業資産 合計	10,394	203	<b>11,110</b>	715

※リース債権流動化を控除しない残高を表示

## 4. 參考資料

単位：億円

	2021/3期		2022/3期		2022/3期	
	3Q累計実績	伸率	3Q累計実績	伸率	通期予想	伸率
売上高	2,494	0.1%	<b>2,311</b>	△7.3%	3,124	△4.2%
リース料収入	1,778	△0.2%	<b>1,698</b>	△4.5%	2,280	△2.9%
割賦売上高	350	△8.9%	<b>237</b>	△32.1%	351	△20.7%
営業貸付収益	27	13.5%	<b>30</b>	13.1%	42	13.7%
受取手数料	46	2.1%	<b>52</b>	12.6%	68	7.8%
その他の売上高	291	14.3%	<b>291</b>	△0.1%	383	2.8%
売上原価	2,211	△0.8%	<b>2,007</b>	△9.2%	2,724	△5.6%
リース料原価	1,599	△0.7%	<b>1,514</b>	△5.3%	-	-
割賦原価	325	△9.8%	<b>212</b>	△34.7%	-	-
資金原価	10	20.1%	<b>10</b>	3.0%	-	-
その他の売上原価	275	11.4%	<b>269</b>	△2.2%	-	-
売上総利益	283	7.6%	<b>304</b>	7.2%	400	6.1%
販売費及び一般管理費	137	11.4%	<b>132</b>	△3.7%	215	6.3%
営業利益	146	4.2%	<b>171</b>	17.5%	185	5.9%
経常利益	144	4.5%	<b>172</b>	19.7%	183	4.5%
当期純利益	99	3.9%	<b>119</b>	20.3%	126	4.8%

本資料の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。

<お問い合わせ先>

## リコーリース 株式会社

RICOH LEASING COMPANY, LTD.

経営企画部

Tel : 03-6204-0608  
Email : [ir@rle.ricoh.co.jp](mailto:ir@rle.ricoh.co.jp)  
URL : <https://www.r-lease.co.jp>